

シリーズ みんなの 医療講座



一条通病院3病棟はこれまで、西棟で内科急性期一般、外科手術機能を

緩和ケア病床とは

一条通病院 医師 村上 和正

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患（主に「がん」）に伴う、「痛みをはじめとする身体の不快感」「気持ちのつらさ」「生きていく意味や価値」についての疑問「療養場所や医療費の悩み」など、患者さんや家族の方が直面する、さまざまな問題に対し援助する医療のことです。また「緩和ケア」は、病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があります。従来、「緩和ケア」は「看取りのケア」ととらえられがちでした。しかし、近年では、「がん」が進行した患者さんだけでなく、「がん」と診断された患者さんが可能な限り快適に過ごすために、「がん」の痛みをはじめ、さまざまな症状を和らげるための「緩和ケア」が、早期から行われることが重要であると考えられています。

担ってまいりましたが、2010年4月より、西病棟で整形患者の受け入れが始まるとともに、東棟に16床の緩和ケア病床を開設し、新しい「3病棟」として新たなスタートを切りました。

当院の緩和ケア病床では、癌の終末期の患者さんはもちろん、乳癌の手術を受けられる患者さん

や、化学療法を行っている患者さんを受け入れています。緩和病床では、2011年12月までの1年9か月の間に、およそ190名（延べ450件）の入院患者を受け入れることが出来ました。

入院患者の内訳は、癌の終末期の看取りの患者さんが91名、乳癌の手術を受けた患者さんが49名、化学療法を行った患者さんが29名（延べ222件）、検査目的の入院が13名などで、平均病床稼働数は9床前後で推移しました。

他医療機関からの患者さんの紹介は、この間、97件あり、転院前の病状悪化によりキャンセルとなった11件を除いた、83件を受け入れました。紹介医療機関の内訳は、旭川厚生病院：32件、旭川医科大学：23件、旭川日赤病院：16件、市立旭川病院：12件、旭川医療センター：8件、その他：6件でした。

緩和ケア病床開設からこれまで、色々な出来事がありました。絶食中なのに「ラーメンを



タンポポ園児から歌のプレゼント

「川中美幸のコンサートへ行きたい！」と言った患者Bさん。残念ながらこの目標は達成する事は出来ませんでした。亡くなる2日前から、病室で大好きな曲を聴いて頂きました。御家族もとても喜ばれて「コンサートに行けないけど、この歌大好きだったから良かった。ありがとう。」と感謝の言葉も頂き、コンサートの日、静かに逝きました。

現在、北海道には、緩和ケア病床をもつ病院は11施設あり、緩和ケアチームは6施設が承認されています。しかし、緩和ケア病床は、札幌圏と道南に偏在しており、旭川には、旭川医科大学に緩和ケアチームがあるのみです。

当面は、当緩和ケア病床が、市内で重要な役割を担うことになりそうです。その役割を果たせるよう、努力を続けていきたいと思えます。

相談室の窓

初冬に札幌市内で認知症について考えるシンポジウムが開かれ、私も聴きに行きました。そこで、印象深かったのは「社会とつながり続ける環境を整えよう」という参加者の女性の発言でした。介護保険や施設入所などの相談に応じる仕事をしている私は共感を覚えませんでした。

その女性は、「認知症の方は介護者の力だけでは暮らしていけない、周囲のサポートや介護サ

一昨年の9月に入職しました。当初は覚えることが沢山あり、迷うこともありました。迷ったが、少しづつ仕事に慣れてきました。今では患者さんやご家族の顔も覚え、笑顔で接することができるようになりました。

きらり☆ナース

励ましの言葉いただいて
宗谷医院 看護師 栗原 江利子

ビスを上手に利用していきましよう」と呼びかけていました。認知症の問題を抱え込むのではなく、他人の手を借りながら生きることを提案して

れないのかもしれませんが。認知症の方も同じ人間です。あいさつを交わす、デイサービスに通い、みんなとレクリエーションを楽しむなど人と人とのつながり、刺激を受けた

友の会員同士のつながりを生かし、認知症の方を孤立させない活動が求められていると感じています。友の会を介して支援の輪が広がる、困った

家族だけで介護するのは、「認知症の方への偏見を恐れている」、「介護は家族が行うもの」という固定観念、「仕事と介護に追われ相談する時間が無い」、「どこに相談したらいいのかわからない」など様々な理由で周囲に頼

り与えたりを繰り返しながら生きていくものではないでしょうか。一方、介護保険料の支払いなど家計のやりくり

に四苦八苦し、介護サービスを利用したくても利用できない場合もあります。グループホームや介

一条通病院 医療ソーシャルワーカー (社会福祉士) 野村昭典

す。デイサービスでは健康状態を把握、手作業、体操、ボランティアさんによる歌声、コンサート、外出レクリエーションなどを私も一緒に楽しんでいます。節分では、送迎の運転手が鬼役になり盛り上がりがあります。



宗谷医院は地域の人達が力を合わせて建てた診療所です。友の会の方々が宗谷の医療を良くしていきたいと願う気持ちに私も応えていきたいです。

「道北の医療」 宅配しています

シリーズ④

楽しみの時間、増やして

豊岡西友の会 玉菊 昭雄さん

玉菊さんは豊岡に、40年ほど前からお住まいです。移られた当時は田んぼが多い地域でした。道北の医療を配布されて26年が経ちます。32部を友の会員に届けています。

「近くに一条通病院、クリニックがあつて本当に安心です。ずっと友の会員であり、患者です」と玉菊さん。

退職後、楽しみの時間

を多く持つようにしているそうです。今は学校開放事業のバウンドテニスで汗を流し、友人とのカラオケ、絵手紙もやっています。

「絵手紙は、それぞれ仲間どうしで送りあうのが楽しみです」。

取材には、奥さんも参加し、話がはずみました。さらに愛猫のルフィー君も登場。「この猫のおかげで、夫婦の会話も増え



ています」と笑顔の奥さん。

「マンションも多くなかなか顔も合わせられませんが、配布もがんばりますよ」とお話ししていました。



神楽友の会の忘年会

神楽友の会 配布人交流会ひらく

12月17日、神楽友の会は、配布人交流会・忘年会を東神楽町の「花かぐら」で行いました。24人が参加しました。

和寒友の会は12月3日、和寒総合体育館で「健康づくり交流会」を開きました。会には40人を超える方が参加しました。

「ふまねっと」では8人掛けの椅子が4列にも。1時間で「どんぐりころころ」に合わせて全員がステップを踏めるほどになりました。また、懐かしい曲に合わせて体を動かす「一人踊り」で汗を流しました。

お昼のカレーをみんな



はじめての「ふまねっと」にみんな集中

で食べ、ビンゴゲームも楽しみました。

和寒友の会「健康づくり交流会」に40人

友の会 だより

各地からのトピックス

まずはゆつくり温泉入浴。入浴しない人は、部屋でストレッチや体操をしました。

食事前に旭川医院・加藤千鶴子師長から「インフルエンザについて」のミニ学習がありました。美味しい食事のあと、午後からはビンゴゲームやカラオケで交流しました。



永山東友の会総会

永山東友の会が総会

永山東友の会は12月18日に総会を行いました。会場は、愛別町協和温泉。32人の会員が参加しました。前半は総会を開催。会長には角張六郎さん

が再任されました。後半は鍋を囲みながら食事会。温泉にもゆつくりとつかりました。

「来年も友の会活動ががんばりましょう」と語りあいました。

春光友の会が忘年会

春光友の会の忘年会は12月10日に行われました。会場は旭川市観音台の「料亭雪の屋」。忘年会には職員も含めて29人が参加しました。

美味しい料理を楽しみ、交流も深まりました。新年からの友の会活動を、元気に進めていくことを誓い合いました。



あいさつする河合剛俊会長



送迎バスに感謝

東川町 瓜生 昭枝さん

平成7年以来ずっと大変お世話になり、助けて頂いております。先生方も、職員さん方も皆さん親切で、優しくして下さい、送迎バスの恩恵をありがとうございます。おかげさまで81歳になりました。近くに娘家族も居りますし、皆様

方のお世話になっていきます。

健診で友の会に

旭川市 吉田紀代子さん

健康診断で「友の会」を知り、早速入会をしました。毎月の「道北の医療」の配布を楽しみにしています。これから寒く

なつて、配布も大変でしょうが楽しみに待っています。

原発ゼロへ

富良野市 千葉 克義さん

知人が蘭越町に住んでいて、永住する予定でした。ところが泊原発から30kmの避難準備区域とな

り、どうするか悩んでいます。先日、「今、原発ゼロにするために行動しなければ、将来、娘に申し訳が立たない」といつて11、23全道集会に参加しました。

新年お年玉クイズ (正解者20人に図書券プレゼント)

ヒント

寒さには負けないぞ

ヨコのかぎ

①佐藤、斉藤、江藤、名字の語源は、この貴族から。

⑤清水次郎長の子分。森

- の〇〇〇〇。
- ⑥詳細は〇〇のとおり。
- ⑧今年の6月21日。
- ⑩物事に熱中すること。
- ⑪俳句。今月の季語の1つ。
- ⑫病気が、怪我が治ること。

タテのかぎ

- ①記憶や印象が月日とともに薄れていくこと。
- ②京阪地方で用いる自分の呼び名。
- ③方向を知るための装置。
- ④新年のこと。
- ⑦チャプリンは〇〇〇王。
- ⑨〇〇〇柳。〇〇〇桜。
- ⑩秋田〇〇〇。小野〇〇〇。
- ⑪大きな栗の木の下で育てるもの。

応募方法

2重マスの字をくみあわせて、あることば(ヒント参照)をつくってください。

答えは、ハガキか、各院所にある「応募用紙」に、お名前、住所を記入のうえ応募ください。Eメールでも応募でき

①		②	③	④
		⑤		
⑥	⑦			
	⑧			⑩
⑪				
				⑫

ます (tomonokai@dohok-u-kinkyu.or.jp)。

抽選で20人の方に図書カードを送ります。締め切りは1月末日。

◆「近況」「要望」「意見」などもお待ちしています。「読者のひろば」に掲載させていただいた方に、図書カードをお送りします。

●あて先●

郵便番号078-8341 旭川市東光1条1丁目2号 道北勤医協本部 社保組織部

11月号の答えは「コハルビヨリ」でした。応募総数は177通でした。

●当選者● (敬称略)

太田潤子、町 恭子、長谷川憲武、野田一、伊藤早規(以上旭川市)、丹 重蔵(当麻町)、川端沙菜(枝幸町)、嶋田千鶴、名張めぐみ、長崎千賀子(以上稚内市)